

2022年1月13日

ネイティブ 4K「D-ILA」デバイスの搭載と高輝度 1,900lm により、4K の高精細映像が楽しめるエントリーモデル

D-ILA ホームプロジェクター「DLA-V50」を発売

～HDR の最新規格「HDR10+」^{※1}に対応し、映像制作者の意図を忠実に再現～

株式会社 JVC ケンウッドは、Victor ブランドより、D-ILA ホームプロジェクターの新商品として、ネイティブ 4K に対応する「DLA-V50」を3月中旬より発売します。

本機は、ネイティブ 4K「D-ILA」デバイスの搭載と高輝度 1,900lm の実現により、ネイティブ 4K ならではの滑らかで、高精細な映像表現が可能です。また、HDR の最新規格「HDR10+」^{※1}に対応し、映像制作者の意図を忠実に再現します。リビングシアターなどで手軽に 4K の高精細映像が楽しめるエントリーモデルとして提案します。

※1：「HDR10+」の再生には、対応のコンテンツ、プレーヤーが必要です。

品名	型名	本体カラー	希望小売価格（税込）	発売時期
D-ILA プロジェクター	DLA-V50	B：ブラック W：ホワイト	800,000 円	3月中旬



<企画意図>

現在、BS4K 放送や 4K 映像配信サービス、あるいは UHD ブルーレイなど、4K コンテンツの視聴環境は、ますます広がりを見せています。これに伴い HDR コンテンツも増えており、従来からある「HDR10」、「HLG」に加えて、「HDR10+」^{※1}などのダイナミックメタデータに対応したコンテンツも普及が進んでいます。また、最新の家庭用ゲーム機においても、4K120P に対応するソフトも次々に登場しています。

このような中、当社が昨年 9 月に報道発表した 8K60p/4K120p 入力対応 D-ILA プロジェクター「DLA-V90R」「DLA-V80R」「DLA-V70R」は、市場から非常に高い評価を得ています。そこでこのたび、同 3 モデルの基本性能を継承しつつ、ネイティブ 4K に対応するエントリーモデルとして「DLA-V50」を発売し、ホームプロジェクターのラインアップを拡大します。

本機は、上位モデルと同様に、0.69 型ネイティブ 4K「D-ILA」デバイスの搭載に加え、ランプ光源ながら高効率の光学エンジンの組み合わせにより 1,900lm の高輝度を実現。高解像度と高コントラストを両立します。また、HDR の最新規格「HDR10+」^{※1}に対応し、シーンごとの輝度情報に応じたトーンマッピングを行うことで、映像制作者の意図を忠実に再現します。さらに、4K120P 入力に対応した低遅延モードを搭載し、ハイフレームレートのコンテンツにも対応します。当社は本機を、最新の「HDR10+」^{※1}コンテンツからゲームコンテンツまで、リビングで気軽に 4K の高精細映像が楽しめる、コストパフォーマンスが高い、ホームシアター向けプロジェクターの入門機として提案します。

<主な特長>

1. ネイティブ 4K「D-ILA」デバイスと高輝度 1,900lm などにより 4K 高画質映像を実現



1) 0.69 型ネイティブ 4K「D-ILA」デバイスにより高解像度と高コントラストを両立

上位モデルの「DLA-V90R」「DLA-V80R」「DLA-V70R」と同様に、0.69 型ネイティブ 4K「D-ILA」デバイスを搭載。「D-ILA」独自の狭ピッチ画素プロセスにより大画面でも格子が見えにくい、4K ネイティブならではの滑らかな、高精細な映像表現を可能にしました。

2) 超高圧水銀ランプと独自の光学エンジンの組み合わせによりリアリティーあふれる高画質映像を実現

265W の超高圧水銀ランプと高効率化した光学エンジンの組み合わせにより 1,900lm の高輝度を実現。また、0.69 型 4K「D-ILA」デバイスとワイヤグリッド採用の光学エンジンにより、ネイティブコントラストは 40,000 : 1 を可能とし、また入力映像を解析し、黒レベルを自動制御する「インテリジェント・レンズ・アパーチャー」との組み合わせにより、ダイナミックコントラスト 400,000 : 1 も可能としました。高輝度化によるダイナミックレンジとの相乗効果で、リアリティーあふれる高画質映像が体感できます。

3) 細部まで高品位を再現する口径 65mm の高解像度オールガラスレンズを搭載

15 群 17 枚のオールガラスレンズを採用した口径 65mm のレンズを搭載。画面周辺部に至るまでフォーカスの合った高解像度映像を実現します。

4) 4K120P 入力に対応

当社のD-ILAホームプロジェクターのラインアップとしてはエントリーモデルながら、4K120p入力に対応し、低遅延モードを搭載。今後、普及拡大が見込まれるハイフレームレートのゲームコンテンツなどの表示に効果を発揮します。



2. 多彩な HDR (High Dynamic Range) コンテンツに対応

HDRコンテンツのもつ、輝度レンジの拡張や、BT2020といった広色域、10bit階調などの豊富な映像情報に対応。UHDブルーレイやストリーミングに採用されているHDR10方式、放送などで採用されるHLG (ハイブリッドログガンマ) 方式に加え、ダイナミックメタデータに対応した「HDR10+」^{※1}方式にも対応しています。

1) HDR の最新規格「HDR10+」^{※1}に対応し、映像制作者の意図を忠実に再現

HDRの最新規格である「HDR10+」^{※1}に対応。HDR再生の基本規格である「HDR10」は、コンテンツの輝度情報としてMaxCLLとMaxFALL^{※2}の2つの情報から成りますが、「HDR10+」^{※1}では、輝度情報がシーンごとにデータとして埋め込まれているため、シーンに応じたトーンマッピングを行うことができます。そのため、映像制作者の意図を反映したHDR映像を忠実に再現することが可能です。



※2 : MaxCLL (Maximum Content Light Level) : コンテンツの明るさの最大値。MaxFALL (Maximum Frame Average Light Level) : フレームごとの平均最大輝度。

2) 当社独自の「Frame Adapt HDR」と「Theater Optimizer」^{※3}を搭載、多彩な「HDR10」コンテンツを最適に再現

当社独自の機能として、あらゆる「HDR10」コンテンツのフレームごとの最大輝度を独自のアルゴリズムで瞬時に解析し、プロジェクターにおける映像投写に最適なダイナミックレンジにリアルタイムでトーンマッピングを行う「Frame Adapt HDR」と、設置環境や使用時間に合った最適なトーンマッピングを自動で行う「Theater Optimizer」^{※3}を搭載。ユーザーの使用状況に応じてHDR映像の再現性を高めます。また、18bitレベルのガンマ処理を行うため、明部の階調段差や暗部の黒つぶれを抑え、高精度で滑らかなグラデーションを再現します。

※3 : 「Theater Optimizer」機能は、「Frame Adapt HDR」画質モード選択時のみ有効です。

3. 滑らかな自然な動きを実現する、当社独自の残像低減技術「Clear Motion Drive」^{※4}

当社独自の残像低減技術「Clear Motion Drive」^{※4}は、補間アルゴリズムの見直しにより、オブジェクト境界における動き補償精度を向上。また、映像の動きに応じて「D-ILA」デバイスの駆動を最適化する「Motion Enhance」との組み合わせにより、4K映像をより滑らかに再現します。

※4 : 4K120p 入力時には使用できません。

<その他の主な特長>

・3D 信号に対応^{※5}。3D の規格上、対応信号はフル HD までながら、内部回路によるアップコンバートにより 4K相当の 3D 映像が楽しめます。

※5：3D の映像を楽しむには、オプション品（別売）の「3D メガネ」と「3D シンクロエミッター」が必要です。

・レンズメモリーや画素調整、画面マスクなどの設置調整内容を一括して最大 10 種類まで保存し、簡単に呼び出すことができる「設置設定」機能を搭載。スクリーンのサイズ、ゲインに加え、アスペクトも設定可能です。

・設置条件や使用状況などで変化する光学特性を最適化する「オートキャリブレーション機能」^{※6}を搭載。

※6：「オートキャリブレーション機能」を使用するには、市販の光学センサーと専用ソフトウェア、PC、LAN ケーブルが必要です。

・スクリーン特性によって生じる色のアンバランスを補正する「スクリーン補正モード」を搭載。

・壁に近づけての設置など、さまざまな設置環境に対応する後面吸気・前面排気を採用。

<主な仕様>

型名	DLA-V50	
本体色	ブラック/ホワイト	
表示デバイス	0.69 型 4K「D-ILA」デバイス (4,096×2,160) ×3	
4K120p 入力	○	
表示解像度	4,096×2,160	
レンズ	2 倍電動ズーム・フォーカス オールガラスレンズ 口径 65mm	
レンズシフト	上下 80%、 左右 34% (電動)	
投写サイズ	60 型 ~ 200 型	
光源	NSH 265W	
明るさ	1,900lm	
コントラスト比	ダイナミック	400,000:1
	ネイティブ	40,000:1
入力端子	HDMI	2 (4K120p/HDCP2.3 対応)
出力端子	トリガー	1 (ミニジャック、DC12V/100mA)
	3Dシンクロ	1 (Mini-Din 3pin)
制御端子	RS-232C	1 (Dsub-9pin)
	LAN	1 (RJ45)
サービス端子	Service	1 (USB TypeA) *ファームアップ用
ビデオフォーマット	デジタル	480p、576p、720p 60/50、1080i 60/50、 1080p 120/100/60/50/30/25/24、 2560×1440p 120/60 3840×2160p 120/100/60/50/30/25/24、 4096×2160p 120/100/60/50/30/25/24
3Dフォーマット	フレームパッキング	720p 60/50、1080p 24
	サイドバイサイド	720p 60/50、1080p 60/50/24、1080i 60/50
	トップ&ボトム	720p 60/50、1080p 24
消費電力	420W (通常待機時：1.5W、エコモード待機時：0.3W)	
ファンノイズ	24dB	
電源	AC 100V、50/60Hz	
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	500mm×234mm×495mm	
重量	19.2kg	

<オプション品>

品名	型名	希望小売価格 (税込)
3Dメガネ(RF方式)	PK-AG3	16,500 円
3Dシンクロエミッター-(RF方式、「PK-AG3」専用)	PK-EM2	11,000 円
交換ランプ	PK-L2618UW	51,700 円

<商標について>

- ・「D-ILA」「Frame Adapt HDR」「Theater Optimizer」「Clear Motion Drive」は株式会社 JVC ケンウッドの商標または登録商標です。
- ・HDR10+™ ロゴは HDR10+ Technologies, LLC の商標です。
- ・HDMI (High-Definition Multimedia Interface)と HDMI ロゴは、HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。
- ・その他、記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。



<「DLA-V50」(ブラック)>



<「DLA-V50」(ホワイト)>

本件に関するお問い合わせ先

【報道関係窓口】 株式会社 JVCケンウッド 企業コミュニケーション部 広報・IR グループ
TEL : 045-444-5310 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町三丁目 12 番地
【お客様窓口】 JVCケンウッドカスタマーサポートセンター
TEL : 0120-2727-87 (固定電話からはフリーダイヤル) /
0570-010-114 (携帯電話からはナビダイヤル) / 045-450-8950 (一部 IP 電話)

本資料の内容は発表時のものです。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。